

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。
早いもので今年もあと二
か月足らず。肌寒い日が
増えてきました。くれぐ
れもご自愛ください。

九月にまとまった来年
度予算の概算要求の査定
・
本編成の作業が本格化し
てきました。予算編成担
当の政調会長代理として、
ねじり鉢巻きで仕事をし
ています。

来年度予算の目玉は、
何と言ってもエネルギー。
原発事故を経験した日本
にとって、新しいエネル
ギー技術の開発・実用化
は喫緊(きつきん)の課
題です。

原発代替エネルギーを
考える際には**化石燃料工
ネルギー**に目を向ける必
要があります。例えば、オ
イルシェールガスを利用
した高効率火力発電には
期待が集まっています。
もうひとつは**再生可能
エネルギー**。大別すると

八種類に分かれます。第
一は**太陽光**。パネルを千
枚単位で並べる大規模太
陽光発電所(メガソーラ
ー)が次々と計画されて
います。第二は**風力**。昨
年末現在で全国に一八三
二基が稼働中。第三は**水
力**。豊富な水資源を有す
る日本では期待の高いエ
ネルギー源です。

しかし、太陽光・風力
は天候の影響を受け、稼
働率が不安定。水力も降
雨量を介して貯水量や流
量が影響を受けます。そ
こで、安定電源として有
望視されているのが第四
の**地熱**と第五の**海洋工ネ
ルギー**。海洋国家、火山
国家日本としては、この
二つの有効活用が必要で
す。

第六は木廃材などの有
機物を燃料にする**バイオ
マス**。温室効果ガスを排
出する化石燃料を使用し
ないため、従来は温暖化

対策として注目を集めて
いました。震災後は、被
災地の木材がれき処理と
電力不足解消を両立させ
る技術として期待が高ま
っています。

第七は振動発電や熱電
発電などの**その他分野**。第
八は**燃料電池(エネファ
ーム)**。燃料(水素など)
と酸化剤(酸素など)の化
学反応によって電気エネ
ルギーを生み出します。

これらの開発・実用化
に積極的に予算措置を行
い、再生可能エネルギー
の割合を高めていきます。
同時に、福島第一原発
の事故処理、廃炉等に関
連する技術開発、人材養
成にも注力しなくてはな
りません。今も対応に当た
ってくれている多くの関係者
に感謝しつつ、みなさん
に感謝していかなくてはな
りません。頑張ります。

※

耕平



第9回

「弘法さんを語る会」

定員50名

会場 日泰寺西側「専修院」

今年のテーマ
飛鳥・奈良時代の仏教

聖徳太子没後の動きと、奈良仏教の三巨人
役行者・行基・鑑真

～執筆者・大塚耕平がお話させていただきます～

参加無料

開催時間等詳細は、お問い合わせください。
(定員50名/事前にお申し込み頂ければ幸いです)

お問い合わせ 大塚耕平事務所 TEL 052(757)1955 あさい

